熊歯会報

3
2008

Kumashi Kaihou

2008年3月15日
No.623

熊本県歯科医師会

熊歯会報 3月号

2008

― 表紙に寄せて ―

「山鹿百華百彩」
芝居小屋八千代座（山鹿市）の豊前街道をろうそくの灯りで飾り、八千代座で山鹿灯篭踊り、山鹿太鼓を堪能できるイベントが毎週末行われている。竹や番傘を使ったやさしい灯りが寒空に温かさを増す。（3月1日まで）　（M.K）

歯科医師の倫理綱領

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

社団法人　日本歯科医師会

もくじ

巻頭言（専務理事　浦田　健二）……3
第11回理事会 ……4・5
委員会だより（学術・学歯・厚生管理）……6～10
国保だより ……11
個別指導の現場から……12
郡市会だより ……13～16
（天草・球磨・阿蘇・玉名・荒尾・菊池）
会務報告 ……17～19

より安心・安全な歯科医療をめざして

専務理事　浦田　健二

19年度もいよいよ最後の月となり、本会会務も、会員の皆様のご協力により、100周年事業をはじめ、１年間概ね順調に終えることがでました。誠に有難うございました。20年度も、診療報酬改定への対応をはじめ、公益法人制度改革、未入会者対策、後期高齢者医療制度への対応等々、会員の皆様にとって、重要な案件が数多く挙げられますが、任期最後の１年間、全力で一つ一つ慎重に対応して行きたいと思っております。その中で、代議員会、総会でも、過去数回協議して頂いた「熊本県歯科医師会推奨歯科医院制度」を、20年度より２年間研修等を受講して頂き、22年より開始する予定です。この制度の目的は、熊本県歯科医師会会員診療所が、自ら一定基準を設けて、患者さんに安心・安全な歯科医療を提供するよう努力していることを、県民に対してアピールし、自他共に、より信頼を得られるように努めることです。内容については、会員の皆様からの様々なご意見を参考にさせて頂き、一定の努力は必要ですが、取り組み易いものとなっております。詳しい内容は、各郡市に説明に回る予定にしております。

制度の実施に対しては、慎重論もありますが、すでに日歯生涯研修事業では、修了証または認定証が発行されていますし、千葉県歯科医師会では21年度より、千葉県歯科医学会認定歯科医制度を発足することになっています。この制度は、迫りつつある専門医時代に向けて、日頃研鑽は積んでいるものの何の公的資格を持たない一般会員が、不利益を被らないように、真に患者さんのために良心的にプライマリ・ケアを施している歯科医師を評価し、県民に対してその医療情報を提供するものです。

また、今回の診療報酬改定においても、在宅療養支援歯科診療所の施設基準、歯科外来診療環境体制加算の施設基準にも、所定の研修を受講した常勤の歯科医師が一名以上配置されていることと定められており、世の中の流れは、この方向性に向かうと思われます。是非流れに乗り遅れない様に、そして何よりも患者さんにより安心・安全な歯科医療を提供する為に努力を続けていきましょう。

理事会報告

公益法人改革に伴い、定款諸規則等検討委員会を開催

― 第11回理事会 ―

１月29日（火）午後６時00分より　県歯会館第１会議室にて堤会長ほか全役員、有田幹事長の出席のもと議長を堤会長、議事録署名人を宮坂・犬束理事にて開催された。

堤会長あいさつ

診療報酬改定について、現状では精一杯の成果であると見ることもできるのではないかと思います。政府の構造改革の流れの中で、平成18年度から５年間で社会保障費、とりわけ医療費を１兆２千億円減額するということが謳ってあります。勿論、保険料を上げるわけにはいきませんので、毎年約２千２百億円ずつ医療費を下げていかねばなりません。前回の診療報酬改定においては、これに加えて中医協の贈収賄問題もあり、日歯執行部、或いは歯科界は大変な辛酸を嘗めることとなりました。日歯は、その後、「真の歯科医療を勉強する会」等を立ち上げ、歯科医療は咀嚼を司り、生命の源である食を支える医療であるということを、最近重視されてきている食育と絡めることで上手くアピールすることに成功し、徐々に歯科の復権がなされてきました。今回の改定は、数字的には0.42%のプラスに留まったという見方もあるかもしれませんが、予算の削減であったり、歯科界に逆風が吹く厳しい状況の下で、関係各位が様々な努力を積み重ねることで為し得たプラス改定であることから、一応の評価をしてもいいのではないかと考えています。私たちは、歯科医療の活路を見出すために、単に診療報酬改定にだけにこだわらず、患者さんが行きやすい医院作りをしていく必要があります。その道程は幾つもあると思いますが、まずは推奨医院制度を整備し、歯科医師全体で頑張っているということを広く県民にアピールする必要があると考えます。

関係各位の努力でプラス改定を

報　告

総　　務：第10回理事会、第21･22回常務理事会、第１回定款・諸規則等検討委員会、第11回日歯理事会、第19･20回日歯常務理事会、日本リハビリテーション病院・施設協会理事会、熊本地域リハビリテーション支援協議会総会・特別講演、熊本県医療審議会、口腔リハビリテーション推進委員会他

学　　術：学術パネル打合せ

社会保険：保険だより、社会保険説明会（玉名郡市）、保険個別指導、支払基金研修会

地域保健：早産予防事業に係る中間報告会、県健康づくり県民会議幹事会、各郡市地域保健担当者会議

厚生管理：厚生管理講演会、健康診断（特定健診）、厚生管理だより、グループ保険

広　　報：「熊歯会報」２月号

学校歯科：学校歯科医研修会、県高等学校保健研究競技大会、県 PTA 災害見舞金安全会判定審査会、熊本県学校保健会合同研修会

医療対策：医療相談、苦情相談、各郡市医療相談担当者会議

センター・介護：在宅歯科診療担当者選出、口腔ケアと口腔リハビリ研修会、摂食嚥下障害審査診断と治療計画、介護者歯科実技研修会、19年度障害児口腔ケア事業

調査ＩＴ：事務局文書保存及びサーバ、医師・歯科医師・薬剤師調査の概況

学　　院：学院研究テーマ発表会、学院臨床実習場反省会、学院始業式
国　　保：九歯連常務理事会・役員会・協議会・事務担当者連絡会

以上、12月21日から1月24日までの総務、各委員会、他の動きについて、堤会長及び担当各役員より報告がなされた。

報　告その2

1．退会会員
○豊田征介（上益城郡）
平成19年12月21日　ご逝去
○松原俊文（天草郡市）
平成20年１月７日　ご逝去

2．関係機関からの推薦依頼
○熊本地方社会保険医療協議会委員（熊本社会保険事務局）
堤　直文会長　任期　平成20年３月30日～平成20年９月30日
○熊本県医療安全推進協議会委員
浦田健二専務理事　任期　平成19年９月31日～平成21年３月31日

3．名義後援依頼
○日本マネジメント学会　第10回熊本地方会
○日本褥瘡学会・褥瘡在宅医療ネットワーク熊本県

4．野口英世アフリカ賞の賞金募金の寄付
○会員　43名　94,000円
○熊本県歯科医師会　100,000円
合計　194,000円

5．定款・諸規則等検討委員会
第１回委員会を１月７日（月）に開催した。主に、定款・諸規則について公益法人制度改革により、役員任期が２年に縮小されることに伴う変更部分の改正を行う。また、併せて今後は未入会者対策等も諮問する予定である等の報告がなされた。

6．診療報酬改定に向けての「今後の検討の進め方」（案）
診療報酬改定に向けての今後のスケジュールについて報告があった。
今後、３月上旬に診療報酬点数告示・通達等が発出され、４月１日に改定診療報酬点数が施工されることになる。

7．有料実習・講演会企画（案）
有料実習・講演会『患者がまた来たくなる定期健診』を３月23日（日）企画している旨の報告がなされた。

8．各会計12月末現況
西野常務より12月末までの会計報告が詳細になされた。

9．その他
○ビスフォスフォート薬使用の患者さんへの呼びかけポスターの会員配布について［伊藤理事］

協　議

1．平成20年度年間行事予定（承認）
常務会と各理事より提出された行事予定を原案通り承認した。

2．口腔保健センター日祭日診療の廃止（承認）
平成20年４月１日より廃止することとした。また、このことについては、熊本市歯科医師会へ早急に文書により通知することとした。

3．定款の一部改正（案）（承認）
定款附則の「それまでの役員の任期は」の文言の直後に『従前通り』という文言を追記した上で、原案通り承認した。

4．平成19年度通常代議員会次第・報告・議事・協議（案）（承認）
原案通り承認した。
なお、11号議案として提出予定であった「熊本県歯科医師会推奨歯科医院制度（案）の承認を求める件」は、これまで協議として複数回、代議員会・総会へ提出していること、及び次年度の事業計画の一環であることから、理事会承認のみとし、代議員会の議案としないこととした。なお、同事業については、日本歯科医師会、千葉県歯科医師会も代議員会の議案とはなっておらず、本会も同様の取り扱いである。

5．平成19年度通常総会次第・報告・議事・協議（案）について（承認）
原案通り承認した。

6．会員種別について（継続）
未入会者対策については、定款・諸規則等委員会で検討していただくことになっているが、理事会でも、会員種別、入会金・会費等も含めたところで、今後の方向性を検討していくこととした。

7．その他
○学院の生徒募集について［上田副会長］
九州各県の養成校で受験者が減少している状況にある。今後入学募集生を増やすために、環境整備、ＰＲ方法を検討しなければならない。　（広報　宮坂　圭太）

委員会だより

口腔内の変化の過程を探る

― 熊本県歯科医学大会 ―

学術委員会

2月3日（日）午前10時より、県歯会館4階大ホールにおいて「予防をスタンダードへ」というテーマのもと、第13回　熊本県歯科医学大会が開催された。

堤直文会長の開会挨拶の後、東京都中央区日本橋開業のナオ歯科クリニック鈴木　尚（すずき　ひさし）院長をお招きし、「欠損補綴の臨床診断～新しい診断の構築に向けて～」という演題で御講演いただいた。

冒頭、鈴木氏は、ダーウィンの進化論を引用し、新しく変化する、進化することが歯科においても重要であると述べられた。

また、Zarbの言葉を引用し、思考の転換、「教わるだけでなく、自分で考えることが重要」という事を再三にわたって講演の中でご教示された。

その後、重度の歯周炎の症例を提示され、「ＭＴＭを併用しながら2年ほどの期間を費やして治療が終了したものの、メインテナンス期間において何度も上顎前歯部のフレアーアウトを再発し、再治療を余儀なくされた。また歯根破折により下顎の大臼歯を失い、なぜこうなるのかを熟考したのち、患者にクレンチングの習癖があることに気付いた。ナイトガードにより対応して現在に至っている。力の存在を読み取ることが大事であった。」と、疾病に力が与える影響の大きさについて長期経過をもとにした考察を述べられた。

また、すれ違い咬合一歩手前の症例を提示され「本当はすれ違い咬合はそれほど多くはないのではないか。ごく少数の症例を取り上げて、それを避けようとするあまり、そうなった原因をしっかりと見極めもせず、安易なオーバートリートメントになっている症例が多くはないだろうか。」という見解を述べられ、最近の歯科治療症例にありがちな傾向に注意を喚起された。

午後から、「欠損補綴は一種の無理の上に成り立っている。」としてAnteの法則に関する見解から始まり、

「欠損補綴は力に依存している。病態は症例によって異なる。」

「力は歯の喪失リスクになる。病態の理解は診断の基本になる。」

といったことを、いくつかの症例を上げながら解説された。

進化が歯科にも必要

我々がよく耳にする疑問「補綴は何年もつのか？」ということに対しては「最大のリスクは歯の喪失！欠損補綴の診断とは何か？病態は個人的で多様である。」と述べられ、病態の理解と診断の関わりについて2つの症例を上げて比較検討し、解説された。

重要なことは現症の観察、変化の把握であり、病態から診断を導くために口腔内の情報を収集し、目に見える変化を探すこと、すなわち変化の過程を探り、そして診断を導く事が重要であると述べられた。

その手順としては、まず全体像を見、疾病傾向を読む事から始める。カリエス傾向なのか、ペリオ傾向なのか、パワー傾向なのか、またはそれの混合型なのか、その傾向を見極める。

そしてプロセスの解明には時間軸の考察が必要であり、問診をし、観察し、変化を見て、なぜこうなったのか、それはいつごろからなのかを考える。

例えばフレアーアウトを起こす成因としては、臼歯部咬合崩壊、重度の歯周病、クレンチング、大きな舌、舌弄癖、前咬み傾向、下顎偏位などがあるがその病態の理解から解析へ進んでいくようにする。

最後に、鈴木氏が命名された因数分解法についても詳しく解説された。質疑応答では活発な意見交換がなされ、終始、多数の受講者の熱気に包まれた本大会は午後4時に終了した。

（学術　藤本　　博）

認定学校歯科医制度いよいよ間近に！

― 日本学校歯科医会 ―

学校歯科委員会

日本学校歯科医会の「基礎研修会平成19年度モデル事業」が20年２月７日（木）に新歯科医師会館１Ｆ大会議室において開催されました。対象者は日本学校歯科医会加盟団体の代表者等担当役員もしくは学校歯科保健委員会等の委員です。

研修を受ける各県の代表者たち

◆これは、なにを意味するものなのでしょうか？

平成21年度からの実施を目指す**「日本学校歯科医会認定学校歯科医制度」がいよいよ本格的に動き始めた**ということです。詳しくは学校歯科通信46号に学校歯科医認定制度の趣旨、今後の取組の概要、日本学校歯科医会認定基礎研修制度の実施要項（概略）等を紹介していますのでご参照下さい。

◆認定学校歯科医になるためには？

日本学校歯科医会が提供する内容の基礎研修（必修）に加え、アドバンス研修（選択）＋自己研修（大会、研修会参加等）＋活動実績により必要単位を満たして、認定学校歯科医を申請することになります。

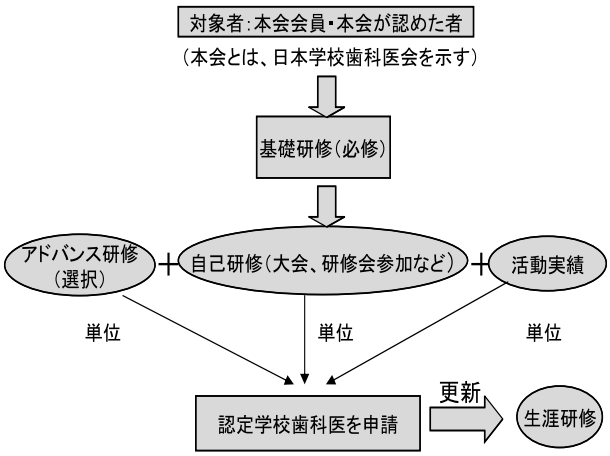


図１　認定学校歯科医制度案

◆基礎研修会の内容は次のようになっています。

１．学校歯科保健の基礎概念について
２．学校歯科保健における保健教育について
３．学校歯科保健における保健管理について
４．学校歯科保健における組織活動について

つまり、平成18年度・19年度に開催されました「学校歯科医研修会」とほぼ同じ内容になっています。学校歯科医基礎研修会は学校歯科医が教育者としての視点も持ち、積極的に歯科保健活動を進める上で学校歯科医がその職務を行うために理解していなければならない基本的な事項を習得するために開催されます。

◆認定学校歯科医になることは難しい事なのでしょうか？

日本学校歯科医会は「すべての日本学校歯科医会の会員が認定学校歯科医になる」こと

を目標として、わかりやすいスライド及びテキストを現在作成中です。一定の研修と活動があれば認定学校歯科医になることが出来ます。

◆認定学校歯科医制度は本当に必要なのでしょうか？

この質問は、２月７日の研修会の質疑応答でも出ました。日学歯の回答は、「急激な社会環境の変化に伴う幼児・児童生徒の心身の健康課題への解決に向けた対応が社会的に要請されていることからも、全ての学校歯科医が本会認定の基礎研修を受講し、更なる資質の向上を図ることが、ひいては確かな社会的評価に繋がるものと思われる。研修制度を充実して認定制を施行し、将来的にはこの資格を持って学校歯科医となるようなシステムが構築できればと考えている。」でした。

私たち歯科医師は、社会性という基準の中で国民や地域住民から認知されるよう、今までもそしてこれからも真摯な活動を継続していかなくてはなりません。同時に、医療の現場においても歯科という専門性を幅広く確保していかなくてはなりません。そのためには歯科医師として、また学校歯科医師としての資質の向上が不可欠なのです。

（学歯　田上　大輔）

お知らせ

※　新 日歯生涯研修事業　平成20年４月１日より研修単位の登録方法が変わります。

◎研修単位の登録方法が変わります。

平成20年４月１日より研修単位の登録は、

「パソコン・携帯電話・プッシュホン」で行う事になります。

現在の日歯生涯研修カードによる研修単位の登録は平成20年３月31日をもって終了します。平成20年４月１日より研修単位の登録はパソコン・携帯電話・プッシュホンで行うことになります。受講研修会用ＩＣカードの作成も予定。受講研修による研修単位登録の簡便化を図るため、会員個々に送付されるＩＣカードを使用しての登録システムも準備しています。

１．生涯研修ガイダンスに基づいた学術情報が簡単に検索できます。
２．平成１７年度以降の生涯研修セミナー（動画）をＷＥＢ配信します。
３．過去の生涯研修ライブラリー（動画）を選択してＷＥＢ配信します。
４．先生ご自身の現在の研修状況をリアルタイムで確認できます。
５．カードの提出・郵送の手間が省けます。
※ 詳しくは日歯雑誌（平成20年１月号）に掲載されています。

委員会だより

元気ハツラツ予防歯科

厚生・管理委員会

１月26日（土）午後３時より県歯会館４階ホールにて、日南市開業の河野秀樹氏をお招きし予防歯科講演会が開催された。まず、上田副会長が「歯科界は現在不況の業界で歯科医院格差も大きくなってきていますが、良質な歯科医療の提供を志し補綴や歯周治療、予防の管理が大変重要です。この講演でしっかり学び明日の診療に役立てて欲しいと願っています。」と挨拶された。続いて、早速河野氏の講演が行われた。

患者さんの主訴には、ニーズ（要求）とそのニーズに潜むデザイア（ニーズの奥の願望）があり、そのデザイアにフォーカスを当てることで歯科の日常臨床は従来とは大きく異なるスタイルになる。今まで治療の延長のように考えられていた予防処置を全く違ったベクトルにのせて話させていただくと述べた。

次に、“守ってあげたい”の主旨と要点を述べた。

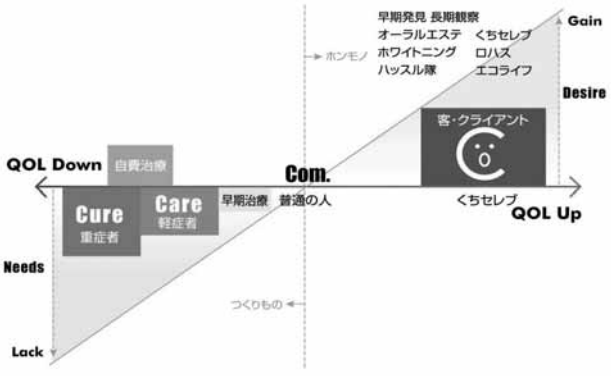
〔１〕これからの歯科医院診療 スタイルのあり方
〔２〕ハッスル隊(虫歯予防クラブ)システム
〔３〕オーラルエステ（ＰＭＴＣ）システム
〔４〕携帯を使ったコミュニケーション
〔５〕まとめ

それぞれについて、具体的に何を想い考え実行すべきか解説。

まずエモーショナルブランディングという発想の応用で患者さんをのがさない法（十戒）を述べられた。歯科業種もこのビジョンをそのまま活用できます。この原則をしっかり持ち各医院作りを構築する事は大変重要と考える。

〔十戒〕
①対象を消費者から人々へ
②商品から体験へ
③正直から信頼へ
④品質から客のひいきへ
⑤知名度から憧れへ
⑥アイデンティティからパーソナリティーへ
⑦機能から感覚へ
⑧どこにでもある状態からプレゼンスへ
⑨コミュニケーションから対話へ
⑩サービスからリレーションシップへ

次に診療システムとして、虫歯・歯周病のＤＮＡ連鎖をいかに断ち切るか、その考え・方法論を述べられた。Cure・Care・Communicate からＱＯＬのさらなる向上デザイアに応えるために、多くの口セレブ（カリエスフリーの口腔内の人です）を増やす為に、ハッスル隊（虫歯予防クラブ）システムオーラルエステ（ＰＭＴＣ）システムを提案する。



〔２〕ハッスル隊とは、１歳から18歳までの会員制虫歯予防クラブで、診療時間内に都合良い日時に来院され、染め出し歯磨きＰＭＴＣをします。
天然歯というダイヤの原石を虫歯にせず、そ

河野秀樹講師

のままの姿で将来輝きのあるダイヤにする事。そこには、虫歯がない、口腔内疾病がないというだけではなく、違うプラスαの価値が年齢と共に加わるでしょう。

〔3〕オーラルエステ（ＰＭＴＣ）とは、“歯は白く歯茎はピンクに、吐息は甘く”をキャッチコピーにしたシステムで、患者様のニーズを満たすＰＭＴＣといつもきれいに美しく健康でありたいという個々人のそれぞれの想いデザイアに応える口腔清掃システムの事です。

このように予防を診療システムに導入する意義は、歯科疾病が、医科の疾病と違い疾病のスタートラインが違うと生涯重篤な疾病にはならないという事です。いかに予防が大切かを痛感します。

〔4〕次に携帯を使った情報提供をお話します。

今は携帯電話の時代です。メールや携帯ホームページを使い診療日・休診日の提示、予約受付、子供さんの治療内容や治療費の情報開示など活用できます。

〔5〕まとめ

もう一つの診療スタイル変革の提案です。

この成熟した日本社会で歯科疾病を治す治療と並行して、様々な口腔を通しての健康価値観に応える診療が求められています。継続来院され“あ、いってよかった”と思われる事が大切です。この講演の終わりに言いたいこととして、ものごとには、①誰にでもはできないこと　②誰にでもできるが誰でもはしないこと　があります。この講演で目指すは②です。“ならば、私がヤル！　志は高くAim　Highです。という言葉を述べられた。

3時間に及ぶ講演もあっという間に終わり大変貴重な研修会であった。

最後に竹下理事から謝辞があり、小規模医院でも充分予防歯科は導入可能で、地域密着型のこれからの1つのスタイルを学んだ。この講演会が少しでも役に立ちますことを願っています、と述べられた。参加者210名以上受講の皆様も得るものが多い有意義な講演会だった。

210名以上の受講者であった

（厚生管理　浦田　琢二）

国保だより

各県の情報交換を密に

― 平成19年度九歯連協議会 ―

1月19日（土）午後３時「大分東洋ホテル」において、上記の会議が開催された。会議に先立ち午後１時より平成19年度第２回常務理事会が開催され、永田九歯連常務理事が挨拶され「平成20年度の国の予算を見ると私達にとって大変厳しい内容と言えます。今後残された道は給付の見直しや制限で対応できるレベルではなく、保険料の値上げを視野に入れることも考えなければならないと感じている。」と述べられた。角九歯連常務理事の司会で進行し後期高齢者医療制度と特定健診・特定保健指導について各県の方針報告と情報の交換を行った。また午後2時より第2回九歯連役員会が開催され

（１）平成20年度九歯連事業計画
（２）平成20年度九歯連歳入歳出予算
（３）次期全協九州支部長担当県について審議した。

次いで協議会が開会され、まず丸尾大分県理事長が「４月から始まる後期高齢者制度に関して老人保健拠出金に変わる後期高齢者支援金の決定など大切な時期に来ています、また特定健診・保健指導についても各県の情報交換を密にして当たりたいと思う。」と挨拶された。

次第に従い議長に丸尾大分県理事長を、副議長に次回開催県の道津長崎県理事長を選出し報告に移った。

報告では（１）平成19年度庶務報告、（２）会計報告として平成18年度決算、平成19年度現計報告を行い、監事の田島宮﨑県理事長が監査報告を行い承認された。

道津副議長に議長を交替し協議に移り、（１）平成18年度各県組合の決算状況について（２）平成19年度各県組合の事業運営状況について（３）平成20年度各県組合の予算方針について（４）各県提出協議題について質問、意見交換などを行った。各県の運営状況に差があり、保険料、特定健診・保健指導について苦慮されている様子がうかがえた。

各県の運営に差があり苦慮している

協議会終了後、学校法人中村学園大学坂田利家教授による講演が「咀嚼とメタボリックシンドローム」と題して行われました。

（講演の要旨）

１．日本人の肥満ではＢＭＩ指数は、25以上、30未満が多く、内臓脂肪蓄積が多く有病率が高い（男性では特に高い）
２．内臓脂肪は体内汚染物質の製造工場と言うことができ、是非減らすべきである。また、内臓脂肪は付きやすく減りにくい。
３．肥満は日常の生活習慣を改善しなければ減らせない、ここが病気の治療との大きな違い。しかし、飢餓状態を耐え抜いてきた現代人は脂肪を蓄えやすい体質になっている。
４．食欲抑制と脂肪分解のためには咀嚼が有効である（動物実験より）。継続しやすい手段として食事の時間を20～30分とり、一口30回の咀嚼を心がけることで肥満の改善が図れる。
５．通常の食事としては米飯を中心とした食事と青魚（脂肪分解に優れている）が適している。

翌20日（日）同会場で九歯連事務担当者連絡会が開催され田代祐子主任が出席した。

（国保　上野　亮一）

個別指導の現場から（No.36）

12月、１月個別指導報告

平成19年12月、平成20年１月に、それぞれ５歯科医療機関の個別指導が熊本県庁で行われた。主な改善指摘事項は、下記の通りである。

１）GoA のカルテへの転写がうまくできない場合は、デジタルカメラ等で撮影をし検査結果を残して下さい。
２）FCK セット後に開始する歯周治療は認められません。
３）同一部位の FCK 除去、ポスト除去は日を異にしてもどちらか1回限りの算定です。
４）頓服は通常２～３回分、症状によっては４～５回分投与してください。
５）義歯の設計は技工指示書に記載してあればカルテに記載しなくてもかまいません。
６）歯内療法の前に X‐Ray がありません。歯内療法を行うときは術前 X‐Ray を撮影してください。
７）全部の症例で切開線が1～1.5cm となっています。正確な長さを記載してください。
８）指導は検査結果に基づいて行うので指導料を検査料より先に請求しないでください。
９）ポケットの深い部分はできるだけ SRP を行ってください。6㎜のポケットがあってもスケーリングで終わっている事例があります。
10）T―cond を行う時は、床の裏装もしくは新製することが必要です。
11）SRP を行った後すぐに補綴を行っている。歯肉が治癒するためには時間が必要です（２週間程度）。
12）歯科口腔衛生指導の内容がほとんど同じです。個々にあった内容で詳しく書いてください。
13）歯内療法時、症状の記載を行ってください。特に抜髄した後長く根貼を行う場合必要です。

尚、２月の個別指導は７歯科医療機関に対して実施される予定です。

（社保　中嶋　敬介）

郡市会だより

平成20年！心新たに新年会

天草郡市

— 新年会 —

1月5日（土）午後5時半より天草シーサイドホテルにおいて、平成20年天草郡市歯科医師会新年会が行われた。今年は政界より園田衆院議員、安田天草市長、天草選出の西岡・池田・船田3名の県会議員、三師会より酒井天草医師会長、田中薬剤師会長の来賓をお招きし豪華な顔ぶれとなった。

まず年頭の挨拶に久々山会長が「4月は僅かながら0.42%up改定となったが、安定した医療が受けられるように我々はもちろん行政の方でも協力をお願いしたい。」と話され、続いて園田衆院議員が「全診療報酬の7%しかない歯科の割合での平成18年度の削減は医療福祉の切捨てでしかない。農業政策、道路財源等諸問題と共に努力していきたい。」と語られた。安田天草市長は 「光ネット事業がある程度整備され地域医療に大きく貢献できるようになってきた。都市と地方の格差是正を図りたい。」と言われた。西岡・池田・船田各県議 はそれぞれに天草地域の活性化を訴えられた。

会員の意見に耳を傾けた

天草郡市の新年会では今年も園田議員が若手・中堅会員の意見によく耳を傾けていただき、地域歯科医療現場のフロントラインから国政に携わっておられる国会議員に直接話ができるというのは、手前味噌ながら本当に恵まれている地域だと思えてならない。

一年の計は元旦にあり、我々天草郡市歯科医師会の計は新年会にあり！

（槌本亮二郎）

今年も頑張りましょう！

球磨郡

— 新年会 —

1月26日（土）午後6時30分より、人吉市料亭竹田にて球磨郡歯科医師会会長以下ほぼ全員と県技工士人吉支部長ほかにゲスト3名参加のもと、新年会が開催された。

当日の会長の挨拶を要約すると、

保険診療全般に関してだが、最近の歯科の講演会は保険診療ではなく自費診療がほとんどを占める歯科界は保険診療から目を背けつつあるがごとき風潮に憂慮している。

また、毎年約1000名の歯科医の増加があり歯科医院はコンビニの約1.5倍に達し収入も平均1割減となっていて過当競争の状況である。

ガソリン等の値上がりが日常の今日、保険点数の技術料も20年の長きに亘って据え置かれている項目が目立ち、不合理を感じる。

球磨郡歯科医師会も合併問題など本年は変化の年となるであろうが、時代の潮流に押し流されないよう全員で努力したい。

との内容であった。

以後宴会に移行し、おたがいの近況や情報交換や、ゲストからの貴重な情報入手、技工士会の近況や種々の情報入手、宴席ならではのユーモアやウイットが交じった雑談など、和やかな時が流れ、気がつけば10時を過ぎ盛会の内に終了した。

時代に押し流されないように

（高野　秀司）

郡市会だより

誤嚥性肺炎の予防と口腔衛生のための歯科医師の役割

― 口腔ケア研修会 ―

1月24日（木）午後６時から、農村環境改善センター(阿蘇市内牧)にて阿蘇地域リハビリテーション広域支援センターの主催で、西田宗剛会員（熊本市）より「摂食嚥下のリハビリテーション」の講演があった。介護事業所スタッフ、医療関係施設スタッフ、地域包括支援センター職員、阿蘇郡市歯科医師会会員の方等、多数の方々の参加があった。

摂食嚥下および摂食嚥下障害についての生理学的、解剖学的なお話に始まり、実際に誤嚥している状態を嚥下ビデオレントゲン検査画像や嚥下ビデオ内視鏡検査画像で見せていただき、誤嚥の様子がよくわかった。それから嚥下訓練についての話があり、嚥下のリハビリにおいてかみ合わせが重要な一因であり、誤嚥性肺炎の予防と口腔衛生のために歯科医師の役割が大きいと話された。

その後ワークショップスタッフ（口腔保健センター、熊本歯科衛生士専門学校、西田歯科医院の歯科衛生士）による摂食嚥下のリハビリの実習があり、口唇訓練、嚥下体操、発音、喉のアイスマッサージ、歯肉マッサージ、誤嚥しないよう上を向かずに飲むことができるコップなどの紹介があり、大変参考になった。口腔ケアの実習では介護事業所や医療関係施設のスタッフの方々が熱心に取り組まれ、関心の高さがうかがわれた。

所々で症例の紹介があり、高次脳機能障害者や障害児など、地道な活動をされているのが印象に残った。当日は雪がちらついて寒い中、遅くまでご講演、ご指導いただいた西田会員はじめワークショップスタッフの皆様にこの場をおかりして感謝申し上げます。

（三森　康弘）

ワークショップスタッフと記念撮影

阿蘇郡市

救急対応を学ぶ

― 研修会および新年会開催 ―

雪の舞う中、２月２日（土）午後３時から４時30分まで阿蘇市健康福祉センターで、阿蘇広域消防本部の救急隊スタッフを講師として「救急蘇生及びＡＥＤ使用法」について、救急対応研修会を開催した。会員・スタッフあわせて30名が、マネキン実習で人工呼吸・心臓マッサージ・ＡＥＤについて学んだ。阿蘇管内は、救急車到着まで約10分（西原村同15分）程度かかるとの事、とっさの時にテキパキ出来るよう、日頃からイメージトレーニングなどが必要と思われる。

＜要点＞

緊急時、まず呼びかけし反応がない場合、周囲の人に救急車・ＡＥＤの手配
気道確保とともに呼吸・脈の確認（10秒以内で自発呼吸の有無を確認）
出血や嘔吐物等で人工呼吸が困難な場合は、心マッサージのみでも有効
心臓マッサージ（乳首を結んだ胸骨の上を手掌基部で)、一分間100回のペース（可能ならば、30秒に１回人工呼吸）
ＡＥＤの使用法：音声ガイドどおりに準備、スイッチを押す者は患者に誰も触れてないことを確認。

心臓マッサージの実習の様子

午後５時からは、阿蘇プラザホテル に場所を移して新年会を行った。会務・委員会報告に続いて、平成19年度通常総会日程が４月５日（土）と告示された。県歯からは堤会長が、会務執行の概略について話され、医療費削減のなか４月改正の点数決定にいたる関係者のご苦労について解説があった。さらに、中島常務理事からは、点数改正の概要について説明があった。

終了後、同ホテルの宴会場で上村阿蘇郡介護保健認定審査会会長、中村阿蘇郡市薬剤師会会長、堤会長、中島常務出席のもと懇親会を行った。　（桑田　和明）

郡市会だより

歯科治療時の偶発症は診断が大切！

― 学術講演会 ―

2月9日（土）午後5時より玉名文化センター研修室において、福岡歯科大学麻酔管理学分野　真鍋庸三准教授を講師にお迎えし、「歯科治療中の偶発症とその処置」という演題で講演が行われた。

治療時の誤飲・誤嚥の防止として口腔内に落とした場合、食道内・気管内に入った場合の対処法といった基本的な点から始まった。

まず基礎疾患を持っていない場合の偶発症として①神経原性（疼痛性）ショック　②アドレナリン（エピネフリン）過敏症　③過換気症候群　④局所麻酔薬中毒　⑤アレルギー反応（アナフィラキシーショック）の予防、診断、対処法などの話があった。

また基礎疾患を持っている場合の偶発症として①高血圧症　②虚血性心疾患　③糖尿病　④気管支喘息（アスピリン喘息）⑤脳血管障害　などが多くみられるということで治療時の注意点などの話があった。

基礎疾患のある患者の場合歯科治療の可否を診断するには、患者の心肺機能の予備力を評価するとともに、医療行為が患者に与える負担を推測し、それが予

治療時における救急の要点は…

備力の範囲内かどうかを判断しなければならない。内科医は心肺機能の予備力を評価することはできても、歯科治療がいかなる負担になるかはそれをおこなう歯科医にしかわからない、したがって内科医に意見を求めることは必要であるが、最終的には歯科医自身が歯科臨床の立場から、治療の可否を判断しなければならない。

事前によく問診を行い、十分に患者の状態を観察し、偶発症が起こってしまった場合には迅速な対応が必要ということであった。

（山本　浩喜）

玉名郡市

よき新年の船出を願う

― 新年会 ―

1月25日（金）午後6時30分から、司ホテルにて、玉名郡市歯科医師会新年会が開催された。安田専務理事の司会で会は粛々と進行した。開会に続き、増田玉名郡市会長、堤県歯会長、野田毅衆議院議員、島津勇典玉名市長にあいさつをいただいた。増田会長は、昨年度を振り返り、参議院議員選挙、防衛省汚職事件、食品偽装事件といった社会問題や、歯科医師会と関係する石井みどり議員の当選、玉東町の小中学校でのフッ化物洗口の実施、8020達成者が20%を超えたことなどを話された。堤会長は、石井みどり議員の活躍などにより、平成20年度の診療報酬改定が6年ぶりにプラス改定となったことや保険点数の貼り付け作業を東京で行なっていることなどを話していただいた。野田議員は、専門の税制問題についての持論を話され、次回の衆議院議員選挙では、小選挙区の林田議員、比例区の野田議員への支持の依頼があった。島津市長

6年ぶりのプラス改定

は、参議院議員選挙での歯科医師会の活躍と玉名の学校保健を通して良い関係が作れることを願っていることなどを話された。舛井幸輔有明保健所長に乾杯のご発声で懇親会が始まり、厚生委員会の会員によるビンゴゲーム等があった。最後に吉田荒尾市会長の三本締めでお開きとなり、良い年となることを全会員で願った。

（桐野　美孝）

郡市会だより

めでたく厄払い

― 新年会 ―

荒尾

1月15日（金）午後7時30分より、ホテルヴェルテにて、荒尾市歯科医師会新年会が行われた。これにあわせて疋田貴之会員の厄晴れのお祝いも催された。

先ず始めに吉田会長より年始の挨拶があり歯科界の現状について、来年度の点数改定にむけ大詰めの折衝が続けられていることが報告された。続いて今年厄明けの疋田会員より厄明けを迎え「一生のうちで災いが最も多く降りかかると言われる厄年を無事終えることができた。」との感謝の言葉と、「子供や家族のためにも健康でありたい。」との抱負などを語って頂いた。会員一丸となって厄を払い、めでたく新年を迎えることができ、9時のお開きまで疋田会員を囲んで歓談の花が咲いた。

疋田先生のご多幸を願って記念撮影

業界をとりまく環境は年々厳しくなり、まさに厄年の連続であるが、新年の決意新たに会員一同楽しく語り合うひとときであった。

（白井　徹郎）

熱気に包まれた新年会！

― 菊池郡市新年会 ―

菊池郡市

1月19日、ホテルキャッスルにて新年会が行われた。当日は41名の出席があり、会場は熱気に包まれる状態であった。

荒木副会長の開会の挨拶後、三隅会長からは「歯科は数多くの分野でニーズが存在しています。厳しい現状を乗り切りましょう」という旨の挨拶があり、伊藤・松岡会員から歯科医師会推奨歯科医院制度の説明、後期高齢者医療制度に伴う訪問歯科診療についての説明がなされた。また来賓の吉田県歯副会長からは「100周年を果たし会員1人1人の協力に感謝申し上げます」旨の挨拶があった。

厳しい現状を乗り切りましょう

その後、工藤前会長の乾杯の音頭で会食が始まった。料理は洋風懐石でフォグラなど美味逸品が並び、当日の目玉である有働会員のジャズピアノの美しい音色に浸りながら各々会話が弾んでいた（開会前片山（豊）会員もピアノで「冬ソナ」を披露していた）。

途中で坂本てつし衆議員議員が到着し、会員1人1人と挨拶をかわしていた。

また、普段会員とあまり接する機会が無いという事で、事務員の渡邉弥生さんが紹介された。新入会員の市川会員も挨拶を行い、周囲の「1曲歌え」の声に素直に賛同し、北川会員のピアノ伴奏にて「いとしのエリー」を熱唱、拍手喝采を浴びていた。

会話が弾みすぎてあっという間に時間が過ぎ、林副会長の一本締めにて新年会は閉会した。

今年の新年会で感じたことは、多くの会員が「隠れ特技」を持っていたことである。縦の繋がりを強化することで無限の可能性が開けそうである。

（阿久根秀典）

H.20. 3

会　務　報　告

自　平成20年1月25日
至　平成20年2月21日

所　管	日　付	摘　　要	出　　席
総　務	1月25日	第２回県歯科技工士試験委員会（県庁）	松岡・伊藤・高松理事、松永学術委員長
		玉名郡市新年会（司ロイヤルホテル）	堤会長、浦田専務理事
		100周年記念史編集委員会　（１）記念史校正18校	前野委員長他５委員
	26日	熊本県警察医会設立二十周年記念式典・講演会（ニュースカイホテル）	吉田副会長
		広島県歯科医師会創立百周年記念式典・祝賀会（リーガロイヤルホテル広島）	堤会長
		熊本市歯会新年懇親パーティー（ニュースカイホテル）	上田副会長、澤田事務局長
	28日	会長出務	堤会長
	29日	支払基金幹事会（支払基金）	堤会長
		副会長会議	堤会長、上田・吉田・小島副会長、浦田専務理事
		第11回理事会 （１）平成20年度年間行事予定（２）口腔保健センター日祭日診療の廃止 （３）定款の一部改正（案）等	堤会長他全役員、有田幹事長
	30日	熊本県医療・保健・福祉団体協議会役員会	上田副会長
	31日	第５回日歯予算決算特別委員会（日歯会館）	堤会長
		第１回県保健医療推進協議会（熊本テルサ）	浦田専務理事
		日歯次期診療報酬対策会議（日歯会館）	堤会長
		人事制度プロジェクトチーム第13回会合	藤枝社労士、職員５名
		県医療・保健・福祉連携学会第１回実行委員会	上田副会長
		会計研修会	浦田専務理事、西野常務理事、吉永会計士
	2月1日	100周年記念史編集委員会　（１）記念史校正18校	前野委員長他５委員
		本会予算打合せ	浦田専務理事、西野常務理事
	2日	阿蘇郡市新年会（阿蘇市内牧）	堤会長、中嶋常務理事
	4日	会計打合せ	西野常務理事、職員３名
	5日	会長出務	堤会長
		常務打合会	堤会長他常務理事以上役員
		第23回常務理事会 （１）通常代議員会会務報告（案）（２）平成19年度特別会計予算（案） （３）平成19年度補正予算（案）等	堤会長他常務理事以上役員
	6日	100周年記念史編集委員会　（１）記念史校正18校	前野委員長他５委員
	7日	日歯次期診療報酬改定対策会議（日歯会館）	堤会長
	8日	第２回定款・諸規則等検討委員会（１）諸規則の一部改正	堤会長、小島副会長、浦田専務理事、西野常務理事、緒方委員長他全委員
		100周年記念史編集委員会　（１）記念史校正18校	前野委員長他全委員
	9日	月次監査　会計打合せ	浦田専務理事、西野常務理事、前野・片山監事
	12日	会長出務	堤会長
		社会保険事務局との面談	堤会長
	14日	第21回日歯常務理事会（日歯会館）	堤会長
		労務勉強会	浦田専務理事、西野常務理事、竹下理事
	15日	県監査委員による財政援助団体等の監査・県補助に関する届出書及び会計調書の監査（監査委員３名）	西野常務理事他職員
		熊本機能病院・米満理事長との面談	堤会長
	16日	九州各県後期高齢者医療制度打ち合わせ（佐賀県歯科医師会館）	浦田専務理事
		九州各県会長会（ホテルニューオータニ佐賀）	堤会長
		九州連協議会（ホテルニューオータニ佐賀）	堤会長、上田副会長、浦田専務理事、渡辺常務理事、澤田事務局長

所　管	日　付	摘　　要	出　　席
総　務	2月16日	佐賀県歯科医師会会長招宴（佐賀市）	堤会長
	17日	九州各県事務局長連絡会（佐賀市・マリトピア）	澤田事務局長
	18日	国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター運営委員会（国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター）	堤会長
		本会会計監査	堤会長、浦田専務理事、西野常務理事、前野・片山監事
	19日	会長出務	堤会長
		常務打合会	堤会長他常務理事以上全役員
		第24回常務理事会 （1）社団法人熊本県歯科医師会諸規則等の一部改正（案）（2）通常代議員会会務報告（案） （3）中規模県歯科医師会連合会協議題等	堤会長他常務理事以上全役員
	20日	県歯科技工士試験実地試験（熊本歯科技術専門学校）	松永委員長
		損害保険ジャパンとの懇談会（東京・春光会館）	堤会長
	21日	第22回日歯常務理事会	堤会長
		人事制度プロジェクトチーム第14回会合	藤枝社労士、職員4名
学　術	2月3日	第13回熊本県歯科医学大会　鈴木尚講師（出席者：212名）欠損補綴	堤会長、伊藤理事、松永委員長他全委員
	4日	学術委員会　（1）学術パネル校正	伊藤理事、松永委員長他全委員
	10日	県歯有料研修会　阿部恵講師　参加者：20名　PMTC	小島副会長、伊藤理事、松永委員長他4委員
社　保	1月26日	社会保険委員会 （1）保険だより（2）保険診療のヒント（3）社保Q＆A等	中嶋常務理事、勇理事、前田委員長他7委員
	29日	社会保険事務局との打ち合わせ	上田副会長、浦田専務理事、勇理事
	2月5日	菊池郡市社会保険研修会（大津町文化ホール）	中村副委員長
	7日	保険個別指導（県庁）	中村副委員長、清水・反後委員
地域保健	1月26日	各郡市地域保健担当者会議 （1）各郡市歯科医師会における地域歯科保健活動状況（2）メタボリックシンドローム特定健診・特定保健指導への対応（3）標準的成人歯科健診プログラム等	浦田専務理事、渡辺常務理事、八木理事、川瀬委員長他全委員
	2月5日	青壮年期の歯科疾患削減モデル事業打合せ （1）歯科健診・指導マニュアル作成	八木理事、川瀬委員長他3委員
	7日	日本銀行事業所健診（日本銀行）　受診者：15名	秋山清会員他3名
	8日	日本銀行事業所健診（日本銀行）　受診者：15名	高木雅子会員他3名
	15日	熊本さわやか長寿財団運営協議会（県総合福祉センター）	八木理事
		青壮年期の歯科疾患削減モデル事業打合せ （1）歯科健診・指導マニュアル作成	八木理事、川瀬委員長他3委員
厚生・管理	1月26日	厚生・管理講演会　出席者：213名	上田副会長、竹下理事他全委員
	2月20日	厚生・管理小委員会 （1）スタッフ待遇セミナー（2）グループ保険（3）厚生・管理だより	竹下理事、瀬井委員長、池嶋副委員長他1委員
広報	1月30日	広報小委員会（1）熊歯会報2月号校正	宮坂理事、加藤委員長、立本副委員長
	2月14日	広報委員会（1）熊歯会報3月号・編集	宮坂理事、加藤委員長他5委員
	21日	広報小委員会　（1）熊歯会報3月号・校正	宮坂理事、加藤委員長、立本副委員長他2委員
学校歯科	1月25日	九州各県学校保健会長及び学校保健担当者連絡会（ホテルキャッスル）	堤会長、澤田事務局長
	2月6日	日学歯加盟団体長会（日歯会館）	岩本副委員長
		県学校保健会第2回総務委員会並びに企画運営委員会（熊本県庁）	堤会長、吉田副会長、渡辺常務理事
	7日	日学歯学校歯科医基礎研修会（日歯会館）	田上委員長
	21日	県高等学校保健会第3回理事会（千原台高校）	吉田副会長
		県ＰＴＡ災害見舞金安全会判定審査会（県総合福祉センター）	西野常務理事
医　対	1月30日	医療対策小委員会 （1）医療トラブル事例（2）各郡市医療相談担当者会議	犬束理事他2委員
	2月2日	医療対策・厚生管理合同委員会　（1）医療安全管理マニュアル作成	犬束理事、竹下理事、前野監事他4委員

所　管	日　付	摘　　要	出　　席
医　対	2月6日	医療対策小委員会　（1）医療トラブル事例　（2）各郡市医療相談担当者会議	犬束理事他3委員
	7日	医療相談	犬束理事、片山委員長、坂本弁護士、損保ジャパン高木氏
	8日	日歯歯科医師青色申告会全国連合会評議員会	犬束理事
	13日	医療対策小委員会 （1）医療トラブル事例（2）各郡市医療相談担当者会議	犬束理事他2委員
	15日	医療対策委員会 （1）各郡市医療対策担当者会議（2）医療相談（3）スコミ及び熊大口腔外科との協議会	犬束理事、前野監事他7委員
	16日	歯科医療安全対策小委員会（1）医療安全管理マニュアルの内容を再検討	前野監事他2委員
	19日	医療相談	犬束理事、前野監事他2委員
		医療対策小委員会（1）各郡市医療相談担当者会議	犬束理事、前野監事他4委員
	21日	歯科医療対策委員会（1）医療安全管理マニュアル作成	前野監事他4委員
		医療相談	犬束理事、片山委員長、坂本弁護士、損保ジャパン高木氏
センター・介護	1月25日	センター・介護委員会　　口腔ケアと口腔リハビリ研修会打合せ	松岡理事他8名
	31日	障害児口腔ケア事業打合せ（1）障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業	松岡理事3名
	2月9日	介護実務者研修会　西田講師、戸原講師　参加者：100名	松岡理事他4委員
	10日	介護実務者研修会　古川講師、戸原講師　参加者：88名	堤会長・松岡理事他4名
	14日	センター・介護委員会（1）口腔ケアとリハビリ研修会	松岡理事他4委員、衛生士会5名
	16日	九州各県後期高齢者医療制度に関する打合せ会（佐賀県歯科医師会館）	浦田専務理事
		在宅口腔ケア研修会　受講者：135名	松岡理事、松本委員長他3委員
調査・ＩＴ	2月5日	調査・ＩＴ小委員会 （1）事務局管理（2）18年度医師・歯科医師・薬剤師調査の概況（3）本会ＨＰの会員専用ページ	高松理事、小野委員長、宮田副委員長
	18日	調査・ＩＴ小委員会 （1）キャノンＳ＆Ｓ、富士ゼロックスによるプレゼンテーション	高松理事、小野委員長、宮田副委員長
学　院	1月25日	学院一般一次入学受付締切（県歯会館）　出願者：7名	
	26日	歯科衛生士養成校会立4校合同打合せ会（福岡市）	逢坂教務部長
	28日	学院教務委員会 第43期生（2年生）前期後期試験不合格者の対応　（2）第43期生（2年生）卒業認定 （3）第43期生（2年生）表彰者等	上田学院長他5名
	2月2日	学院一般一次入試（県歯会館）　受験者数：6名	上田学院長他入試委員3名
	6日	学院入試委員会 （1）平成20年度一般一次入学試験合格者数（2）平成20年度一般一次入学試験合格者の決定	上田学院長、出口副学院長、逢坂教務部長、堤会長、吉田・小島副会長
	9日	一般一次入試合格者発表　合格者6名	
国　保	1月25日	国保役員打合せ	原田副理事長他3名
	2月18日	国保会計監査	堤理事長、上野常務理事、青砥・矢毛石監事
		第9回国保理事会 （1）平成19年度通常組合会　（2）後期高齢者医療制度対応によるシステム変更	堤理事長他全役員、合沢議長、若槻副議長

Volkswagen. Das Auto.

熊本県歯科医師会会員の皆様へ

次なる
ドライビングプレジャーが
ここにある。

Golf GT TSI
ゴルフ GT TSI
1.4ℓ 4ドア 6速DSG® 右ハンドル
¥3,120,000 消費税抜本体価格 ¥2,971,429

What's TSI®& DSG®?

常識破りのエンジンTSI®

直噴エンジンに過給器（シングル・ツインチャージャー）を組み合わせることで圧倒的なトルクを実現したパワーユニット。ふたつの過給器によるターボラグを感じさせない心地よいレスポンスと、燃料の消費量を削減（CO_2低減）することに成功した、高性能とエコロジーを両立した新型エンジン。

瞬速トランスミッションDSG®

スポーティさと低燃費、快適性を融合したデュアルクラッチシステムのトランスミッション。通常一組のクラッチを二組に分け交互にクラッチがオーバーラップするように接続することで、トルクが途切れることなく滑らかなシフトチェンジを実現。さらに、TSIエンジンとの組み合わせにより、優れた動力性能と低燃費を実現。オートマチックトランスミッションと比べ、最大10%以上（※当社調べ）の燃費を節約します。

ゆとりと快適性を追求。

Polo Comfortline
ポロコンフォートライン 1.4ℓ 4ドア 6速A/T 右ハンドル
¥1,990,000
消費税抜本体価格 ¥1,895,238

0.9%ローンSolutions（ソリューションズ）

あらかじめ据置価格（最終回のお支払い額）を設定して、ローンを組む先進のプランです。据置価格には安心の買取り保証も付いていますので、月々のお支払いにゆとりと余裕をお届けします。

〈お支払い例〉Polo Comfortline

ポロ コンフォートライン 1.4ℓ 4ドア 6速 A/T 右ハンドル

車両本体価格**1,990,000円**（消費税抜き本体価格1,895,238円）

0.9% Solutions ボーナス併用36回払いの場合 **月々4,700円（34回）**

頭金（下取車充当可）……680,000円
ローン対象金額……1,310,000円
初回お支払い額……8,066円
ボーナス月加算額×6回 ……70,000円
月々……4,700円

●最終回お支払い額（次の中からお選びいただけます。）

1.当店の新車にお乗り換えの場合…0円
2.ご使用車両のご返却の場合…0円
3.ご使用車両のお買い取りの場合…750,000円

対象期間:2008年1月1日（火）～3月31日（月）
対象期間中にローン契約のお申し込みをされ、ご登録を完了された方を対象とさせていただきます。

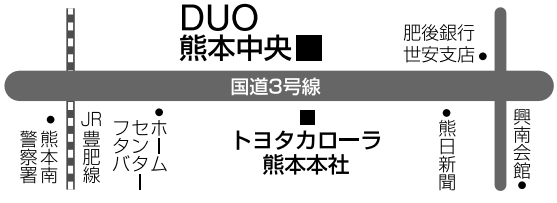
※金利は車種によって異なります。詳しくはスタッフまでお問い合わせください。

会報をご持参ください！
フォルクスワーゲン純正オプション 3万円購入支援実施中!

フォルクスワーゲン
正規ディーラー
DUO熊本中央

〒860-0823 熊本市世安町185 http://www.duo-kumamoto.jp/

フォルクスワーゲンのカタログはトヨタカローラ熊本の各店でもご覧いただけます。



お問い合わせは今すぐ、DUOコールへ **(096)351-5111**

4 行事予定

1日（火）	第１回常務理事会
11日（金）	学院第 46 期生入学式
15日（火）	第２回常務理事会
22日（火）	第１回理事会

編集後記

まだまだ寒い日が続いていますね。そのせいでしょうか、先日数年振りにひどい風邪を引いてしまいました。この御時勢に休診などという選択肢はありえませんので、襲い来る寒気と頭痛に対し、全身カイロで完全武装、さらに風邪薬、栄養剤の大量ドーピングで立ち向かい、なんとか乗り越える事ができました。

これに懲りてインフルエンザの予防接種は毎年必ず受けようと思います。皆さんも気を付けて下さいネ。

(K.I)

8020 歯からはじめる。笑顔ヘルC

発行日／2008年3月15日発行
発行人／堤　直文
発行所／社団法人　熊本県歯科医師会
〒860-0863　熊本市坪井2丁目4-15
TEL　096-343-8020
FAX　096-343-0623
URL http://www.kuma8020.com
印刷所／コロニー印刷